

教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【食物栄養学科】

1. 食物栄養学科の特色

本学科は、健康で自立・自律した人間生活ができる人材、特に食を通して幅広く地域社会に貢献するために食の専門職を担う栄養士を養成し、子どもから高齢者までライフステージに対応した食育や心身の状態に応じた食生活の提案と支援ができる人材を養成します。

2. 学修年限

本学を卒業するためには2年以上在学しなければなりません。2年を超えて在学し、なお卒業できない場合でも、在学年数は4年を超えることはできません。ただし、休学中の期間は在学期間に加えません。2年を超えて在学する場合は、4月20日までに所定の授業料その他の学費を納入しなければなりません(卒業延期)。

3. 単位制度と単位の取得

本学の教育課程は、単位制に基づいて編成しています。学修の基本でもあるので、単位制を十分理解する必要があります。単位制では、授業科目を履修して試験によって学力が一定レベルに達したと認められたときに、その科目の単位が与えられます。一定レベルに達するためには教室内の授業を受けるだけでは不十分であり、予習、復習等の自学自習を必要とします。

単位制度の単位修得過程

(1) 単位制度の単位修得過程

履修登録⇒受講(3分の2以上出席)⇒試験(合格)⇒単位修得

(2) 単位

各授業科目の単位数は、1単位あたり45時間の学修を必要とし、授業方法に応じて次の基準により算出します。

- ① 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ② 実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 卒業単位

卒業要件を得るための最低単位数は、2年間（在学可能年数は4年間）で、62単位以上を修得しなければなりません。

基礎教育科目からは、基幹科目（必修科目）2科目2単位を必修とし、教養基礎科目と教養演習科目から8単位以上、合計10単位以上の単位修得を必要とします。

専門教育科目の栄養士指定科目のうち、「社会生活と健康」「人体の構造と機能」及び「食品と衛生」分野の講義科目9科目(18単位)と、同3つの分野の実験科目5科目のうち4科目(4単位)以上、また、「栄養と健康」「栄養の指導」及び「給食の運営」分野の講義科目9科目(20単位)と同3つの分野の実験または実習科目10科目のうち必修の7科目(合計8単位)と、選択科目3科目から2科目(2単位)以上を履修し、合計52単位以上の単位修得が卒業要件になります。

さらに、上記に加えて食と生活を豊かに実践するための専門科目も含めて、62単位以上の単位修得を必要とします。

4. 資格

卒業要件を満たし、必要な科目を履修すると、次の資格・受験資格が得られます。

必修資格	栄養士資格
選択資格	フードスペシャリスト資格受験資格 社会福祉主事任用資格 キャンプ・インストラクター資格 メイクアップ技術検定2・3級受験資格

5. 履修

卒業するためにはどの科目を修得しなければならないのか、各学年においてはどの科目を履修することができるのかなど、履修細則及び同別表を基本に検討します。その際、卒業要件、履修条件を満たし、将来の進路・目標に向けたガイダンスを受けながら、「各年度の授業時間割表」「学習の手引き（シラバス）」などをよく理解して、適切な履修計画を立てることが大切です。

(1) 履修計画

① 卒業要件を満たす（栄養士資格）

科目区分	履修が必要な科目
基礎教育科目	基幹科目「全人教育講座」(1単位)「キャリアデザイン」(1単位)を含む10単位以上
専門教育科目（栄養士指定科目・必修）	社会福祉概論 公衆衛生学 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 運動生理学 食品衛生学 食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 基礎栄養学 栄養化学 臨床栄養学 ライフステージと食生活

	栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ 栄養指導実習Ⅰ 栄養指導実習Ⅱ 公衆栄養学 調理学 調理学実験 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 給食管理Ⅰ 給食管理Ⅱ 給食管理実習Ⅰ 給食管理実習Ⅱ(校外実習) の46単位
専門教育科目（栄養士指定科目・選択）	解剖生理学実験 生化学実験 食品衛生学実験 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ(食品加工学実習含む) のうちから4単位以上。 栄養化学実験 臨床栄養学実習 ライフステージ栄養学実習 のうちから2単位以上
専門教育科目（食と生活を豊かに実践するための科目）	
合計単位数	62単位以上

② フードスペシャリスト資格受験資格（公益社団法人）

卒業要件を満たしたうえで、次の指定科目を履修すること

科目区分	履修が必要な科目
専門教育科目（栄養士指定科目・選択）	食品学実験Ⅱ(食品加工学実習含む) の1単位
専門教育科目（食と生活を豊かに実践するための科目）	フードスペシャリスト論 食品の消費と流通 食品の官能評価・鑑別論 フードコーディネーター論 の8単位

③ 社会福祉主事任用資格

卒業要件を満たしたうえで、次の指定科目から、3科目以上を履修すること

科目区分	履修が必要な科目
基礎教育科目	心理学 社会学 法学 経済学
専門教育科目	社会福祉概論 公衆衛生学 基礎栄養学

④ キャンプ・インストラクター資格（日本キャンプ協会）

卒業要件を満たしたうえで、次の指定科目を履修すること

科目区分	履修が必要な科目
専門教育科目（食と生活を豊かに実践するための科目）	野外活動（キャンプ実習参加を含む）

⑤ 美容福祉に関わる資格（日本メイクアップ技術検定協会）

本学科では、下記の美容に関わる資格（メイクアップ技術検定2・3級）を取得することができます。次の科目を履修しておくこと受験に便利です。

科目区分	履修が必要な科目
専門教育科目（食と生活を豊かに実践するための科目）	美容福祉Ⅰ および美容福祉Ⅱ